

世界水準の観光地の形成

外国人ドライブ観光の推進

外国人旅行者の急増、個人旅行化、冬期間のレンタカー利用者増加、地域間の旅行需要の偏在に対し、鉄道やバス等の公共交通機関とともに重要な2次交通手段であるレンタカーを利用するドライブ観光を推進するため、多言語による道路情報提供等の充実、快適なドライブ環境の形成に取り組みます。

●外国人旅行者に優しい環境整備

■「道の駅」における取組

外国人案内所の認定取得やシーニックバイウェイと連携した周遊観光ルートの創出等により、インバウンド観光への対応強化を推進します。



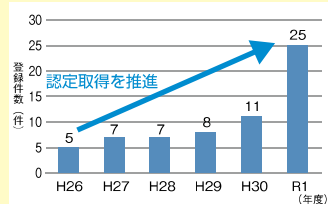
JNTO 認定外国人観光案内所
(道の駅「流水街道網走」)



シーニックバイウェイと連携した
周遊観光ルートの情報発信
(道の駅「摩周温泉」)

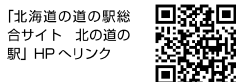
●JNTO（日本政府観光局）認定「道の駅」

・JNTO は訪日外国人旅行者の誘致に取り組む日本の公的な専門機関であり、外国人旅行者が便利で快適に旅行を楽しむことができる環境整備の一環として、外国人観光案内所ネットワークの形成に努めています。
・北海道の「道の駅」においても環境整備のため、認定取得を推進しています。



北海道におけるJNTO認定済「道の駅」件数
(R2年3月1日時点)

下記の二次元コードより、全道各地の「道の駅」に関する最新情報などをお知らせしています。



<http://www.hokkaido-michinoeki.jp/>

■道路標識の改善（オリパラ観光客の周遊促進）

外国人旅行者を始め、全ての利用者にわかりやすい道案内のため、高速道路ナンバリングや英語表記改善を実施するとともに、安全・安心な周遊促進のためにユニバーサルデザイン化を推進します。



高速道路ナンバリング対策事例



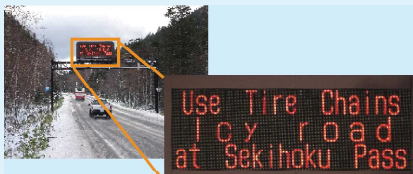
↑新千歳空港周辺における外国人レンタカー向け英語表記看板の設置



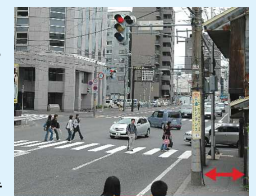
↑東京オリンピック会場周辺における道路標識の対策事例

■道路情報板における英語による道路情報発信

外国人旅行者に対して、道路情報や注意喚起を分かりやすく発信するため、道路情報板に英語表示を実施しています。



「凍結路面・チェーン装着注意喚起」の英語表示



↑オリパラ観光客の周遊促進に向けたユニバーサルデザイン化

北海道におけるサイクルツーリズムの推進

「北海道サイクルルート連携協議会※」は、世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向けた「北海道のサイクルツーリズム推進方針」を策定（令和元年8月19日）しました。

●「ルート協議会」

「北海道サイクルルート連携協議会」では、「北海道のサイクルツーリズム推進方針」に則り、安全で快適な自転車走行環境の創出や受入環境の改善、情報発信等の取組を促すため、当協議会と連携・協働し、取組を実施する団体（ルート協議会）を募集しています。現在、8つのルート協議会が登録されています。



●受入環境の整備

休憩施設の充実



サイクルラックや修理工具の設置
(道の駅等の立寄施設)

移動のサポート



路線バスを活用した自転車輸送

ルートの案内や周知



サイクリングマップ

●自転車走行環境の改善



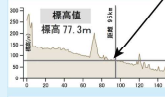
←案内シールによるルートの案内



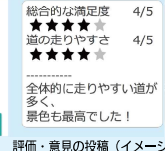
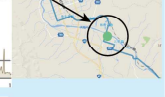
←路面への通行位置明示

●情報発信・サイクリストとのコミュニケーション

現在位置と高低差の表示



現在位置 (GPS)



Web サイトの詳細は下記の二次元コードよりご確認ください。

コミュニケーションwebサイト「サイクルルート北海道」へリンク

<https://cycle-hokkaido.jp/>



・web サイトにてモデルルートの地図や高低差、ビューポイントや休憩施設などのスポット情報を発信。
・利用者から評価・意見を投稿いただきサイクリング環境を改善。